

櫛田川自然再生推進会議（仮称）の設立趣旨（案）

かつての櫛田川は農業としての水利用だけでなく、アユ漁を中心とした漁業としての利用も活発でした。水利用の合理化と堰の恒久化により、農業用水取水としての利便性は向上しましたが、環境の連続性が分断され、アユ漁を中心とした漁獲量は減少傾向にあります。

この結果、櫛田川に対する人々の関心は薄れ、アユを中心とした川にまつわる文化が失われつつあります。

櫛田川における健全な生態系を再生し、さらに川と地域のつながりを再構築することで地域活性化に資するため、櫛田川における自然再生を進めていくことが必要です。

そのため、地域住民、自治体、学識者・有識者、施設管理者や河川管理者が連携し、地域資源を活用した継続的な活動へとつなげていくことが重要です。

櫛田川では、自然再生の目標『櫛田川がつなぐ人と自然・文化』を達成するため、“自然再生を実施する事項”、“環境変化を監視する事項”、“中長期的に対応する事項”を活動の柱とする「櫛田川自然再生推進会議（仮称）」を設立します。

自然再生の目標「櫛田川がつなぐ人と自然・文化」に向けて

